

今、各学年の代表に「修了証」を渡しました。このあと、教室に帰って担任の先生から受け取ると思います。「修了証」と聞くとピンとこないかもしれませんが、通知表の中に「修了証」があって、今日は印鑑と日付が入っていると思います。勉強や学級活動、行事、部活動など、1年間の課程を修了したことを証明するものです。

この通知表の中身は、みなさんの頑張りが、学習面や生活面、行動面、そして出欠によって健康面も記されています。1年間の振り返りをするものです。

1年間を振り返って、がんばったと思える人は、自分自身を褒め、さらに頑張る気持ちをもってください。思ったほどあまり伸びなかったと思う人は、その原因を探り課題を見つけて欲しいと思います。そんな1年の振り返りがぎっしり詰まった修了証を、自分自身も、そして家の方にもじっくり見てもらいたいと思います。

通知表の中には出てこない1年の振り返りがあるので、紹介したいと思います。

それは、養護教諭の大久保先生が出された「自己肯定感アンケートのまとめ」です。数年前から実施しているもので、弥富中学校の財産とも言えるものだと思います。

『私は学校が楽しいです』という問いに、「はい」と答えた生徒が、4月は82.6%だったのですが、1月には85.5%と過去最高の数字になりました。平成22年度の資料では、78.2%だったので、とても高い数字だということが分かります。

学校へ行くこと、学校に来ることが楽しいと思える人がこんなにいるということ、とても嬉しく思います。

また、『私は自分が好きです』という問いには、58.5%の人が「はい」と答えています。平成22年度は、34%でした。自分の欠点ばかり見えてしまい、「どうにでもなれ」と思ってしまう子がたくさんいたのでしょうか。今の弥富中学校は、頑張っている自分が好きと思える子がたくさんいるのですね。それはとてもうれしいことであり、大事なことだと思います。

さて、全員で学校で過ごす毎日は、今日で一区切りです。明日からは春休みです。学校から離れ、地域に戻って生活することになります。

先生たちは、長い休みになるととても不安になります。それは、みんなの姿が見えないからです。毎日顔を合わせていれば、みんなの変化に気づいて声をかけることができます。しかし、学校を離れていると気づいてあげられません。体調が悪そうだな。自転車で道路いっぱいに広がって走っていると危険だな。服装が乱れているけれど大丈夫かな……先生たちは気づいたり声をかけたりすることができません。

そんな学校から離れた時に大切なのが、先ほど言った「自分のことが好き」という気持ちです。最後に自分の心、体を守ることができるのは「自分自身」なのです。自分自身が自分を守ることができるのか。自分自身を見つめることができるのか。

自分自身のことを大切に、春休みを過ごして欲しいと思います。

4月7日に207名の新1年生を迎えます。一つ進級し、全員が元気な姿、ひとまわり成長した姿を見せて欲しいと思っています。